

I 作品	
(1) 展示	1
(2) 貸出	1
II 展覧会	
(1) 企画展 開館30周年記念 荒井寿一コレクション 川瀬巴水展	2
(2) 企画展 開館30周年記念 柳原義達展	4
(3) 特集展 開館30周年記念 The Gift 寄贈をうけた作品選+新収蔵品展	5
(4) 企画展 開館30周年記念 studio COOCA のパッパラパラダイス 2021 これがとってもとくいです	7
(5) 企画展 物語る 遠藤彰子展	9
(6) 特集展 湘南の日本画一院展、創画会の作家を中心に	11
(7) 特集展 ロビー展 金景啓展	12
III 教育普及	
(1) 令和3年度実施プログラム	13
(2) スクールプログラム	13
(3) 対話による美術鑑賞事業・ボランティア育成	14
(4) アートカードの貸出	15
IV その他の事業	
(1) 事業	16
(2) 団体向け研修・体験プログラム	16
(3) 博物館実習生及び職場体験	16
V 施設利用者等の統計	
(1) 展覧会	17
(2) 貸出施設	18

令和3年度 事業報告

I 作品

(1) 展示

当館展覧会において下表のとおり、589点の作品を展示しました。

NO	種別	展覧会名	総出品点数	うち所蔵・寄託	うち借用
1	企画展	川瀬巴水展	297点	0点	297点
2	企画展	柳原義達展	88点	0点	88点
3	特集展	The Gift展	74点	74点	0点
4	特集展	studio COOCA展	158点	0点	158点
計			589点	74点	515点

(2) 貸出

開催展覧会の内容や意義、開催場所の設備・環境、作品の状態や当館での利用予定などを考慮し、下表のとおり3点の作品を貸し出しました。

NO	貸出先	展覧会名・会期	点数	作家・作品名
1	鏑木清方記念美術館	特別展「随筆『こしかたの記』刊行60年記念 清方が愛した江戸、東京。人、暮らし。」(2021年5月12日～7月15日)	2点	鏑木清方《洛外の春》《小園夏趣》
2	池田20世紀美術館	久野和洋の世界展(2021年6月24日～10月12日)	4点	久野和洋《実》《地の風景・道のかたち》《筈二個と水差し》《複製画のある静物》
3	北海道立三岸好太郎美術館、神戸市立小磯記念美術館	貝殻旅行—三岸好太郎・節子展—(2021年6月26日～9月1日、11月20日～2022年2月13日)	1点	三岸好太郎《旅愁》
4	砺波市美術館、一宮市三岸節子記念美術館	貝殻旅行—三岸好太郎・節子展—(9月11日～11月7日、2022年2月19日～4月10日)	1点	三岸好太郎《海洋を渡る蝶》
計			8点	

Ⅱ 展覧会

(1) 企画展 開館 30 周年念 荒井寿一コレクション 川瀬巴水展

種 別	企画展
会 期	4月24日(土)～6月13日(日)
主 催	平塚市美術館
特別協力	荒井寿一コレクション
協 賛	神奈川中央交通株式会社
開館時間	9:30～17:00(入場は16:30まで)
休 館 日	月曜日 ※5月3日は開館し、5月6日(木)は休館
観 覧 料	一般800円、高大生500円
開催日数	44日
観覧者数	18,088人
担 当	家田奈穂(当館学芸員)



《旅みやげ第二集 金沢下本多町》1921年
木版・紙、荒井寿一コレクション



《東京十二題 五月雨ふる山王》1919年
木版・紙、荒井寿一コレクション

●内容

大正から昭和にかけて風景版画を数多く制作した川瀬巴水(かわせ・はすい、東京生、1883-1957)の展覧会を開催します。

川瀬巴水は、幼少より絵に関心を寄せていましたが、本格的な画業の開始は遅く、27歳で鏑木清方(かぶらき・きよかた)に師事します。大正時代前半の巴水は、清方の弟子として雑誌の挿絵や口絵、広告図案などの仕事をして版による制作に親しみました。やがて、同門の伊東深水が制作した風景版画《近江八景》の連作に影響を受けて本格的な木版画制作をこころざし、版元・渡邊庄三郎と協力して、大正7(1918)年に塩原の写生にもとづく三部作を発表します。以後、約40年にわたって日本各地を写生旅行し、その地に暮らす人々の生活や四季折々の風景をもとに、詩情あふれる作品を数多く生み出しました。

本展は、昨年度開催を予定していた「川瀬巴水展」が新型コロナウイルス感染症のため中止になったことをうけて、荒井寿一コレクションのみで再構成したものです。荒井寿一コレクションは、川瀬巴水の初期から晩年までの優れた版画作品を網羅するほか、これまで紹介される機会の少なかった本の装丁や雑誌の表紙・挿絵・口絵、絵はがきなどのグラフィックデザインを含む充実したコレクションです。「版」という表現手段を通じて生み出された巴水作品の展開と幅広さをお楽しみください。

●関連事業

○ワークショップ「水性多色木版画を作ろう！」

日時：5月23日（日）、5月30日（日）、6月6日（日） 各日13:30～16:30

※全3回講座、事前申込制

講師：内山良子氏（版画家）

参加者：8人

(2) 企画展 開館 30 周年記念 柳原義達展

種 別	企画展
会 期	4月24日(土)～6月13日(日)
主 催	平塚市美術館
共 催	三重県立美術館
助 成	公益財団法人三重県立美術館協力会
開館時間	9:30～17:00(入場は16:30まで)
休 館 日	月曜日 ※5月3日は開館し、5月6日(木)は休館
観 覧 料	一般400円、高大生200円
開催日数	44日
観覧者数	13,223人
担 当	勝山滋(当館学芸担当長)、品川ちひろ(当館会計年度任用職員)



柳原義達《坐る》1960年 三重県立美術館蔵



柳原義達《風の中の鴨》1982年 三重県立美術館蔵

●内容

日本の彫刻界を代表する作家のひとりである、柳原義達(1910-2004)の業績を紹介しました。柳原は戦前よりロダン、ブールデルの影響により彫刻制作を始めます。戦争を経て、戦後、1953年に渡仏し、新たな具象彫刻を制作します。その緊張感に満ちた造形性は、対象の本質を表し、具象彫刻の可能性を押し開きました。加えて、ヒューマニズムに裏打ちされた感覚により、生命感あふれる作品を発表します。これにより、戦後日本の彫刻界に大きな足跡を残しました。

「生命の力の移動を見、その移動によってプランが構成される芸術は、絵では出来ない。ただ一つの彫刻の世界、特に具象の作家の仕事ではなかろうか。

私はこのことこそ、唯一の純粋な彫刻の美であり、具象の美しさであると信じている。私は少しでも絵画的表現の戦前の仕事から、彫刻の本質とは何かの困難な道を歩みたい。」(『柳原義達美術論集 孤独なる彫刻』)と柳原は記しています。

本展では、代表的な彫刻および素描により柳原彫刻の魅力を紹介しました。

(3) 特集展 開館 30 周年記念 The Gift 寄贈をうけた作品選+新収蔵品展

種 別	特集展
会 期	7月3日(土)～10月24日(日)
主 催	平塚市美術館
開館時間	9:30～17:00 (入場は 16:30 まで)
休 館 日	月曜日 (8月9日、9月20日は開館)、8月10日(火)、9月21日(火)
観 覧 料	一般 200 円、高大生 100 円
開催日数	98 日
観覧者数	743 人(7月16日現在)
担 当	勝山滋(当館学芸担当長)



鳥海青児《石だたみ (印度ベナレス)》1962 年



鶴野政《星のまつり》1972 年

●内容

開館 30 周年を記念し「The Gift 寄贈をうけた作品選+新収蔵品展」を開催します。

作品の収集は美術館活動の根幹です。当館にはもともとコレクションの母体がなく、60年代半ばから一作家一点寄贈運動が契機となって収集活動がはじまりました。平塚出身の洋画家・鳥海青児に当時の市長・加藤一太郎が直接寄贈を依頼したことを皮切りに、およそ10年で湘南ゆかりの作家の作品110点あまりが市に寄贈されました。

1976年に平塚市博物館が開館すると、同館の美術担当を窓口にして作品寄贈が活発化し、井上三綱や二見利節の作品などが収蔵されました。美術館の開館までの時期には6000点を超える寄贈があり、開館以後は展覧会での出品を機とした寄贈も増加していきました。こうした流れをみて気が付くことは、60年代から70年代にかけては市長自らが寄贈を依頼し、当時活躍していた作家が近作のなかから自発的に寄贈をしており、制作年もこの当時のものに偏りがあり、やがて美術館の建設基本計画などで収集の方針が定められるとしたいに系統だった収集が行われていくという特徴があります。

そこで本展では、このように特徴づけられ、折々に作家や関係者から贈られた寄贈作品を「前史」「博物館時代をへて美術館開館へ」「新収蔵品」の3つの章にわけ、74点の作品によってその一端を紹介します。

これらの作品は、市や美術館建設、地域文化を発展させたいという想いがこもったギフトであり、当館が開館するにあたっての大きな原動力になりました。The Gift という展覧会名には、このような経緯で開館し30周年を迎えた美術館から来館者へのお礼を込めた贈り物という意味が込められています。珠玉のギフトをご堪能いただければ幸いです。

○学芸員によるギャラリートーク

①7月22日(祝・木) ②8月29日(日) 各回 14:00～15:00

場所：展示室Ⅱ ※申込不要、要観覧券

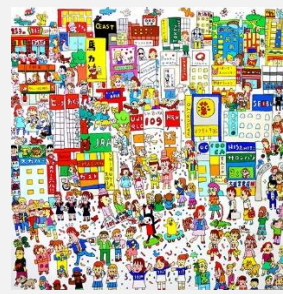
(4) 企画展 開館 30 周年記念 studio COOCA のパッパラパラダイス 2021

ーこれがとってもとくいですー

種 別	企画展
会 期	7月10日(土)～9月12日(日)
主 催	平塚市美術館
協 賛	神奈川中央交通株式会社
開館時間	9:30～17:00(入場は16:30まで)
休 館 日	月曜日(8月9日は開館し、10日休館)
観 覧 料	一般700円、高大生500円
開催日数	56日
観覧者数	604人(7月16日現在)
担 当	江口恒明(当館学芸員)



川村紀子《はだかんぼ》1998年頃



横溝さやか《SHIBUYA 2020》2017年

●内容

studio COOCA (スタジオ・クーカ) は、2009年に設立された平塚市内の障害福祉サービス事業所です。様々なハンディキャップをもった人が、「得意なことで仕事をする」を目指して、アートをテーマに活動を続けてきました。

これまでに、ギャラリーや公共スペース、美術館などで展示活動やワークショップを積極的におこない、商品デザインやパッケージ、各種メディアで作品を目にする機会も多数あります。国内外のアートマーケットやデザイン関係者から高い評価を得て、障害者アートの世界で著名なアーティストを擁する施設として知られています。また、2015年からは、GALLERY COOCA & CAFE (平塚市明石町) を開設し、施設利用者やまちの人たちとのコミュニケーションの場をつくり、地域の文化的な交流もおこなっています。

本展では、平塚市内で長く活動してきた studio COOCA の作家による絵画とインスタレーションを中心に、公開制作やパフォーマンスもあわせてその作品を紹介します。どの作品もカラフルな色彩や個性の強いキャラクターなどで特徴づけられる独自の世界観をもち、さまざまな枠組みに縛られない自由な表現で人々を楽しませ惹きつけてくれます。

アートに特化した福祉施設は全国にも多数ありますが、studio COOCA の活動は、所属アーティストのそうした特色を最大限にいかして、つねにさまざまなボーダーを問うところにオリジナリティがあります。明るく突き抜けた作品は「障害とは?」「アートとは?」というメッセージを発し、社会的なインパクトもあるアートとなっているのです。本展ではあらゆる人にとって斬新なアートとの出会いの場を提供します。

●関連事業

- 「人形劇団ふもっふっ」人形劇&横溝さやか紙芝居@平塚市美術館

日時：7月24日（土）、8月22日（日）14：00～14：30

場所：展示室 I

内容：クーカメンバーによる脚本・ブラックユーモアあふれる子どもも大人も楽しめる人形劇を上演します。

○講演会&THE KENTY DONUTS・studio COOCA パフォーマンスラボ 公演

講師：関根幹司氏（studio COOCA 施設長）

日時：9月12日（日）14：00～15：30

場所：ミュージアムホール

対象・定員：一般・50人

内容：クーカメンバーによるシュールなお笑いバンド THE KENTY DONUTS と studio COOCA パフォーマンスラボのライブ演奏・パフォーマンスのあと、studio COOCA 施設長が講演します。

○公開制作

日時：毎週木曜日、7月24日（土）、8月22日（日）、9月12日（日） 10：30～15：00

場所：展示室 I

内容：アトリエ紹介スペースにて、クーカ所属アーティストが制作をおこないます。

○夏のおしゃべり美術館

日時：8月11日（水）～14日（土） 各日13：30～14：15

場所：展示室 I

内容：対話による美術鑑賞ボランティア「ひらびあーつま〜れ」のメンバーと一緒に、展示室の作品を見ながら「感じたこと」「思ったこと」をお話します。

(5) 企画展 物語る 遠藤彰子展 (予定)

種 別	企画展
会 期	10月2日(土)～12月12日(日)
主 催	平塚市美術館
開館時間	9:30～17:00(入場は16:30まで)
休 館 日	月曜日
観 覧 料	一般800円、高大生500円
開催日数	62日
担 当	勝山滋、安部沙耶香(当館学芸員)



遠藤彰子《みつめる空》1989年、
相模原市蔵



遠藤彰子《鐘》2007-2008年

●内容

遠藤彰子氏(相模原市在住)は長年にわたる精力的な活動によって全国の美術館で大掛かりな個展が開催されるなど、現在最も注目される洋画家です。

1947年、東京都中野に生まれた作家は幼少より絵に親しみ、武蔵野美術短期大学に学びました。1972年、女流画家協会展に出品した《楽園》がマツダ賞を受賞し、画家としてのデビューを果たします。この頃から素朴で童画的な要素を取り入れた「楽園」シリーズが始まります。この「楽園」シリーズは結婚を機に都内から自然あふれる相模原市に移ったことから誕生しました。その後、1970年代後半から「街」シリーズが始まります。この「街」シリーズによって洋画家・遠藤彰子の名は広く世間に知られるようになりました。1978年、昭和会展の林武賞、1980年、女流画家協会展の女流画家協会賞など受賞を重ね、1986年には「街」シリーズの探究を凝縮した《遠い日》で安井賞を受賞。画家としての評価を決定的なものとなりました。

1989年からは500号をひとつの単位とする大作のシリーズが始まります。単眼の視点から多視点の構図へと向かい、螺旋構成など空間構成に様々な試行がなされています。また、神話的世界や物語性を内包した作品内容は、その絵画世界の壮大さによってみるものを圧倒します。2000年代に入ると、500号を結合し、1000号、1500号となる更なる大型作品を発表、その圧巻のスケールは作品内容の充実とともに高く評価されています。その例をみないスケール感はみるというよりも体感する絵画とも言えます。

本展覧会では、この超大作を中心に本展のために描かれた新作を含め、また各時代の数々の代表作品をご紹介します。圧倒的な存在感と深い物語性を秘めた独自の遠藤ワールドをこの機会に是非お楽しみください。

●関連事業

○遠藤彰子氏講演会

①10月17日(日) ②11月28日(日)各回14:00-15:30

場所: ミュージアムホール ※事前申込制

○遠藤彰子氏によるワークショップ

①11月6日(土) ②11月20日(土)各回 13:30-16:30

場所:アトリエ ※事前申込制

○学芸員によるギャラリートーク

①10月23日(土) ②12月4日(土) 各回 14:00~14:40

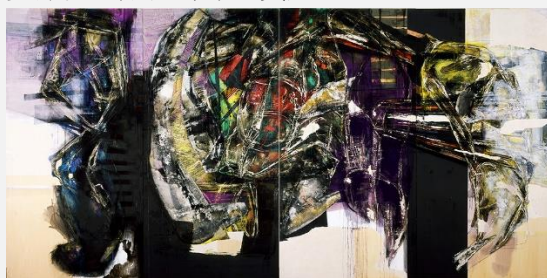
場所:展示室 I ※申込不要、要観覧券

(5) 特集展 湘南の日本画一院展、創画会の作家を中心に (予定)

種別	特集展
会期	10月30日(土)～2022年2月13日(日)
主催	平塚市美術館
開館時間	9:30～17:00(入場は16:30まで)
休館日	月曜日、(2011年1月10日は開館し、翌火曜日休館)、年末年始(12月29日～1月3日) ※展示替えのため休室12月20日～28日
観覧料	一般200円、高大生100円
開催日数	80日
担当	安部沙耶香(当館学芸員)



横山大観《不盡之高嶺》1915年



内田あぐり《吊るされた男#01K》2001年



工藤甲人《愉しき仲間(二)》1951年

●内容

開館30周年を迎えた平塚市美術館では所蔵品のデータベースを整理し、ジャンルごとにWEB上で公開する準備を進めています。今年度は日本画作品を公開するのに合わせて主要なコレクションを展示します。

明治維新後に成立した日本画はたえず新たな表現を模索し続けてきました。さらに、第二次世界大戦後に叫ばれた日本画の危機を乗り越え、現在へと引き継がれてきました。今回は当館にゆかりのある湘南地方の日本画にスポットを当て、日本画の流れをご覧ください。当館の日本画コレクションは①大磯に居を構えた安田靉彦とその周辺の日本美術院の作家②晩年に大磯で過ごした創造美術の創立メンバー・山本丘人とその周辺の創画会の作家③日展などの美術団体や無所属の作家によるものです。彼らの作品を一堂に展示することにより、明治から現代までの日本画の多彩な表現をご紹介します。展覧会をご覧いただいたあと、ご自宅でWEB上のデータベースを使い作品について調べることも可能です。当館の日本画コレクションの魅力を存分にお楽しみください。

●関連事業

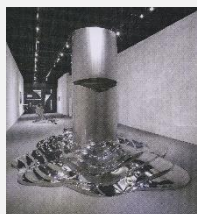
○学芸員によるギャラリートーク

①12月18日(土) ②2022年1月29日(土) 各回14:00～14:40

場所：展示室Ⅱ ※申込不要、要観覧券

(6) 特集展 ロビー展 金景啓展 (キム・キョンミン) 予定

種 別	特集展
会 期	2022年1月4日(火)～4月3日(日)
主 催	平塚市美術館
開館時間	9:30～17:00
休 館 日	月曜日 (祝日は開館し、翌日休館)
観 覧 料	無料
開催日数	78日
担 当	勝山滋(当館学芸担当長)



遭遇 I (2020年) 作家蔵

●内容

金景啓 (キム・キョンミン、1971-) は韓国釜山に生まれ、多摩美術大学をへて現在八王子市にアトリエを構え制作する女性作家です。

水の音と空間をコンセプトに流転する水の流れのなかに永遠を映すステンレススチールの作品は現在高く評価され、公募展や野外彫刻コンクール、UBEビエンナーレなどで受賞を重ねています。

ロビー展の舞台となるテーマホールは外光がふりそそぎ、時とともに様相が変化する大空間です。うつろう陽光のなかで立ちあられる金景啓の作品世界をご堪能ください。

Ⅲ 教育普及

(1) 令和3年度実施プログラム

9プログラム実施 参加者数：96人

3プログラム実施予定

担当：江口恒明(当館学芸員)、品川ちひろ(当館会計年度任用職員)、浅野泰恵子(当館会計年度任用職員)

NO	講座名	講師	実施日	材料費	対象	参加者数
1	宮川慶子展関連事業 自分だけのふしぎないきものを描こう	宮川慶子(現代美術家)	4月4日(日)	500円	親子(年長～小学生)	3組8名
2	体験アートセラピー 親子でパステルワーク～笑顔のカードを作ろう～	福山恵美子(アートセラピスト)	4月10日(土)	200円	親子(小・中学生)	11名
3	MAN-PRINT 等身大の影を撮影しよう!	浅見俊哉(美術家・写真作家)	5月8日(土)	3,500円	親子(年長～小学生)	3組6名
4	荒井寿一コレクション 川瀬巴水展関連事業 水性多色木版画に挑戦!!	内山良子(版画家)	5月23日(日) 5月30日(日) 6月6日(日)	1,700円	中学生～一般	8名
5	キッズアートピクニック	富田めぐみ※	6月3日(木)	500円	親子(2歳～4歳)	8組16名
6	東海大学共働事業 彫刻デッサン教室 所蔵彫刻作品を描いてみよう	河野孝博、笈菜奈子(東海大学芸術学科教員)	6月5日(土)	500円	中学生～一般	8名
7	バックヤードツアー2021	当館学芸員	6月26日(土)	無料	中学生～一般	13名
8	キッズアートピクニック 夏	富田めぐみ※	6月29日(木)	500円	親子(2歳～4歳)	9組18名
9	おうちの窓を天の川にしよう! 星とカササギの七夕モビール作り	依田梓(美術家)	7月3日(土)	600円	親子(小・中学生)	4組8名
10	体験アートセラピー 親子でサマーカード	福山恵美子(アートセラピスト)	7月24日(土)	200円	親子(小・中学生)	未定
11	とけてなくなるせかい 8月3日の回	ドゥイ(造形教室主宰)	8月3日(火)	300円	5歳～小学生	未定
12	とけてなくなるせかい 8月22日の回	ドゥイ(造形教室主宰)	8月22日(日)	300円	5歳～小学生	未定

※NPO法人赤ちゃんからのアートフレンドシップ協会代表理事

(2) スクールプログラム

●児童・生徒向けプログラム 申し込みがあり次第随時実施

●教員向けプログラム 2プログラムを実施 参加者数：33人

担当：江口恒明(当館学芸員)、品川ちひろ(当館会計年度任用職員)、浅野泰恵子(当館会計年度任用職員)

NO	講座名	講師	実施日	対象	参加者数
1	先生のための美術鑑賞ひろば 「柳原義達展」	当館学芸員	5月1日(土)	小・中・高・特別支援学校の教職員	2人
2	平塚市立小学校教育研究会 図画工作部研修	ひらびあ一つま～れ	6月16日(水)	平塚市内小学校教員図画工作部所属教員	31人
3	県立平塚養護学校団体来館	当館学芸員	7月9日(金)	5・6年生と引率者	19人
4	中学・高校生のワークショップボランティア	当館職員	7月31日(土) 8月3日(火) 8月22日(日)	中高生	未定
5	先生のための美術鑑賞ひろば 「Studio COOCAのパップアラパラダイス 2021」	ひらびあ一つま～れ	8月6日(金)	小・中・高・特別支援学校の教職員	未定
6	社会体験研修	当館学芸員	7月21日(水) 8月6日(金) 8月17日(火)	市内小学校5年経験者研修教員	3人

NO	講座名	講師	実施日	対象	参加者数
7	先生向け体験ワークショップ 「和綴じの製本講座」	上島 明子氏 (有限会社美篤堂)	8月11日(水)	小・中・高・特別支援学 校の教職員	未定
8	県立平塚養護学校団体来館	当館学芸員	9月14日(火)	4年生と引率者	未定

(3) 対話による美術鑑賞事業・ボランティア育成

担当：江口恒明(当館学芸員)、浅野泰恵子(当館会計年度任用職員)

●対話による美術鑑賞講座 1校3クラス実施 参加人数：91人

7校実施予定

NO	学校名	講師	学校実施日(事前 授業)	来館授業日	学年	クラス数	参加 人数
1	旭小学校	ひらびあ一つま〜れ	7月16日(木)	-	4年	3クラス	91人
2	みずほ小学校	ひらびあ一つま〜れ	9月21日(火) 9月22日(水)	-	4年	4クラス	-
3	崇善小学校	ひらびあ一つま〜れ	10月中	10月中	4年	3クラス	-
4	中原小学校	ひらびあ一つま〜れ	11月16日(火)	11月25日(木)	4年	2クラス	-
5	花水小学校	ひらびあ一つま〜れ	11月中の2日間	11月から12月の 3日間	6年	5クラス	-
6	大原小学校	ひらびあ一つま〜れ	未定	未定	3・4 年	2クラス	-
7	金田小学校	ひらびあ一つま〜れ	未定	-	未定	未定	-
8	なでしこ小学校	ひらびあ一つま〜れ	未定	-	3・4 年	4クラス	-

コロナ対策授業として事前授業のみの授業も実施しました。

●一般来館者を対象に対話による美術鑑賞を実施します。

4プログラムを実施予定

NO	鑑賞会名	講師	実施日
1	おしゃべり美術館	ひらびあ一つま〜れ	8月11日(水)
2	おしゃべり美術館	ひらびあ一つま〜れ	8月12日(木)
3	おしゃべり美術館	ひらびあ一つま〜れ	8月13日(金)
4	おしゃべり美術館	ひらびあ一つま〜れ	8月14日(土)

●ボランティア育成のための研修等を実施しました。

対話による美術鑑賞ボランティア(ひらびあ一つま〜れ)6期生の育成、及び新規加入の7期生20名程度の育成を実施予定です。また、7期生募集のための体験会、ボランティア同士の交流やミーティングを目的としたひらびcaféを実施しました。

19プログラムを実施 参加者数：人

7プログラム実施予定

NO	講座名	講師	実施日	参加人数
1	ひらびcafé(おしゃべり美術 館ミーティング)	当館学芸員	4月2日(金)	11人
2	自主研修	当館学芸員	4月3日(土)	8人
3	自主研修	当館学芸員	4月14日(水)	4人

NO	講座名	講師	実施日	参加人数
4	6期実践研修	三ツ木紀英 (ARDA)	4月16日 (金)	14人
5	ひらビーcafé (おしゃべり美術館ミーティング)	当館学芸員	4月23日 (金)	13人
6	ひらビーcafé	当館学芸員	4月28日 (水)	7人
7	自主研修	当館学芸員	5月7日 (金)	9人
8	自主研修	当館学芸員	5月12日 (水)	7人
9	6期実践研修	三ツ木紀英 (ARDA)	5月22日 (金)	16人
10	自主研修	当館学芸員	5月26日 (水)	6人
11	ひらビーcafé (おしゃべり美術館ミーティング)	当館学芸員	5月28日 (金)	7人
12	自主研修	当館学芸員	6月4日 (金)	13人
13	自主研修 (図工部会ミーティング)	当館学芸員	6月8日 (火)	10人
14	自主研修	当館学芸員	6月11日 (金)	9人
15	自主研修	当館学芸員	6月18日 (金)	11人
16	6期実践研修	三ツ木紀英 (ARDA)	6月25日 (金)	12人
17	自主研修	当館学芸員	7月2日 (金)	15人
18	ひらビーcafé (体験会ミーティング)	当館学芸員	7月8日 (土)	10人
19	体験会 1回目	当館学芸員	7月15日 (木)	人
20	体験会 2回目	当館学芸員	7月21日 (水)	未定
21	ひらビーCafé (先生のための鑑賞ひろばミーティング)	当館学芸員	7月30日 (金)	未定
22	体験会 3回目	当館学芸員	8月7日 (土)	未定
23	6期実践研修	三ツ木紀英 (ARDA)	8月20日 (金)	未定
24	基礎研修 1回目	三ツ木紀英 (ARDA)	9月11日 (土)	未定
25	基礎研修 2回目	三ツ木紀英 (ARDA)	9月18日 (土)	未定

(4) アートカードの貸出

平塚市美術館を代表する所蔵作品 48 点のカードと遊び方の説明書を合わせたアートカードセットを、学校向け教材として無料貸出を行っています。

貸出実績：1 件

IV その他の事業

(1) 事業

- こども年賀状とおとな絵手紙展

現在検討中

(2) 団体向け研修・体験プログラム

新型コロナウイルス感染症対策のため、今年度の実施はありません。

(3) 博物館実習生及び職場体験

- 博物館実習生の受け入れ

当館の活動に携わることで学芸員の職務を理解することを目的として、美術を専攻する博物館学実習生 10 人(9 大学)を受け入れ、9 月から 12 月まで実習を実施します。

- 中堅教諭等資質向上研修 社会体験研修の受け入れ。

5 年時研修として 3 名の教員の受け入れを行いました。

V 施設利用者等の統計

※令和2年4月9日（木）から6月14日（日）まで、新型コロナウイルス感染症対策のため、臨時休館したので各施設の利用はありません。

(1) 展覧会

●観覧者数（7月末現在）

月	R3年度				R2年度				R元(H31)年度			
	開館日数	企画展	特集展	合計	開館日数	企画展	特集展	合計	開館日数	企画展	特集展	合計
4月	26日	2,842人	-	2,842人	-	-	-	-	25日	1,461人	-	1,461人
5月	26日	16,666人	-	16,666人	-	-	-	-	27日	6,374人	-	6,374人
6月	26日	11,803人	-	11,803人	13日	-	404人	404人	26日	3,720人	108人	3,828人
7月	27日	2,155人	1,938人	4,093人	27日	-	1,470人	1,470人	26日	7,289人	4,825人	12,114人
8月	日	-	-	人	26日	-	2,286人	2,286人	27日	13,236人	8,149人	21,385人
9月	日	-	-	人	26日	-	1,655人	1,655人	25日	-	762人	762人
10月	日	-	-	人	27日	-	2,437人	2,437人	27日	1,996人	1,793人	3,789人
11月	日	-	-	-	25日	-	2,186人	2,186人	26日	4,913人	4,452人	9,365人
12月	日	-	-	-	23日	-	1,238人	1,238人	24日	375人	1,530人	1,905人
1月	日	-	-	-	24日	-	1,214人	1,214人	24日	-	2,718人	2,718人
2月	日	-	-	-	24日	-	1,852人	1,852人	25日	-	2,826人	2,826人
3月	日	-	-	-	26日	-	1,973人	1,973人	1日	-	57人	57人
4月	日	-	-	-	4日	-	627人	627人	3日	-	105人	105人
計	日	33,466人	1,938人	35,404人	245日	0人	17,342人	17,342人	286日	39,364人	27,325人	66,689人

●学校観覧（7月末現在）

		R3年度						R2年度						R元(H31)年度					
		企画展			特集展			企画展			特集展			企画展			特集展		
		学校数	生徒数	教員数	学校数	生徒数	教員数	学校数	生徒数	教員数	学校数	生徒数	教員数	学校数	生徒数	教員数	学校数	生徒数	教員数
小学校	市内	3校	202人	15人	0校	0人	0人	-	-	-	4校	264人	21人	6校	369人	29人	7校	352人	28人
	市外	-	-	-	0校	0人	0人	-	-	-	0校	0人	0人	8校	403人	26人	10校	567人	39人
中学校	市内	1校	5人	2人	0校	0人	0人	-	-	-	1校	5人	3人	4校	41人	10人	3校	40人	12人
	市外	-	-	-	0校	0人	0人	-	-	-	0校	0人	0人	14校	189人	20人	13校	175人	19人
高等学校		2校	10人	8人	0校	0人	0人	-	-	-	0校	0人	0人	0人	73人	21人	5人	75人	28人
計		6校	217人	25人	0校	0人	0人	-	-	-	5校	269人	24人	39校	1,075人	106人	38校	1,209人	126人

(2) 貸出施設

●市民アートギャラリー

月	R3年度			R2年度			R元(H31)年度		
	利用日数	団体数	入場者数	利用日数	団体数	入場者数	利用日数	団体数	入場者数
4月	12日	2団体	541人	-	-	-	25日	6団体	2,822人
5月	17日	4団体	1,470人	-	-	-	26日	7団体	4,089人
6月	12日	2団体	1,278人	-	-	-	24日	7団体	4,038人
7月	18日	4団体	1,966人	6日	1団体	1,050人	29日	5団体	2,951人
8月	日	団体	人	11日	2団体	383人	24日	6団体	4,300人
9月	日	団体	人	19日	4団体	1,339人	23日	6団体	3,463人
10月	日	団体	人	13日	2団体	792人	26日	6団体	3,188人
11月	日	団体	人	12日	1団体	317人	25日	6団体	7,650人
12月	日	団体	人	6日	1団体	307人	12日	3団体	1,456人
1月	日	団体	人	13日	3団体	783人	24日	5団体	4,830人
2月	日	団体	人	12日	2団体	522人	19日	5団体	3,829人
3月	日	団体	人	12日	2団体	673人	-	-	-
計	59日	12団体	5,255人	115日	18団体	6,166人	257日	62団体	42,616人

●ミュージアムホール

月	R3年度			R2年度			R元(H31)年度		
	利用日数	団体数	利用者数	利用日数	団体数	利用者数	利用日数	団体数	利用者数
4月	3日	3団体	152人	-	-	-	3日	3団体	235人
5月	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6月	4日	4団体	137人	-	-	-	9日	9団体	825人
7月	2日	2団体	100人	-	-	-	2日	2団体	185人
8月	日	団体	人	1日	1団体	47人	-	-	-
9月	日	団体	人	3日	3団体	105人	5日	5団体	270人
10月	日	団体	人	1日	1団体	70人	-	-	-
11月	日	団体	人	1日	1団体	47人	3日	3団体	160人
12月	日	団体	人	6日	6団体	293人	9日	9団体	680人
1月	日	団体	人	0日	0団体	0人	3日	3団体	265人
2月	日	団体	人	1日	1団体	7人	1日	1団体	50人
3月	日	団体	人	7日	8団体	349人	-	-	-
計	9日	9団体	389人	20日	21団体	918人	35日	35団体	2,670人

●アトリエ

月	R3年度			R2年度			R元(H31)年度		
	利用日数	団体数	利用者数	利用日数	団体数	利用者数	利用日数	団体数	利用者数
4月	4日	4団体	36人	-	-	-	3日	3団体	30人
5月	1日	1団体	4人	-	-	-	2日	2団体	18人
6月	4日	4団体	41人	-	-	-	4日	4団体	44人
7月	4日	4団体	32人	4日	4団体	48人	4日	4団体	53人
8月	日	団体	人	0日	0団体	0人	3日	3団体	57人
9月	日	団体	人	2日	2団体	13人	3日	3団体	28人
10月	日	団体	人	3日	3団体	28人	5日	5団体	309人
11月	日	団体	人	4日	4団体	39人	5日	5団体	100人
12月	日	団体	人	4日	4団体	32人	2日	2団体	17人
1月	日	団体	人	10日	1団体	149人	11日	3団体	214人
2月	日	団体	人	1日	1団体	6人	4日	4団体	64人
3月	日	団体	人	4日	4団体	33人	-	-	-
計	13日	13団体	113人	32日	23団体	348人	46日	38団体	934人

